

令和8年4月16日  
(資料提供)

(事務担当)

所属名：農林総合研究センター 農業試験場  
中央普及支援センター 病害虫防除室  
直通：257-6972

## 令和8年度病害虫発生予報第1号について

今後発生が予想される水稻、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 4月下旬～5月中旬

2 予報内容

(1)水 稻

**イネミズゾウムシ**の発生はやや**多**と予想される。箱施薬していないほ場では、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

(2)麦 類

**大麦赤かび病**の発生は**並**と予想される。出穂前後の降雨は発生を助長するので、出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を実施する。

(3)大 豆

**ネキリムシ類**の発生は**多**と予想される。は種時の防除を徹底する。

**タネバエ**の発生はやや**多**と予想される。は種時の防除を徹底する。有機物を施用したほ場は発生が多くなるので注意する。

(4)果 樹

**カキ炭疽病**の発生はやや**多**と予想される。孢子飛散は4月中旬からと予想されるため、発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

**ナシ黒星病**の発生は**並**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

(5)野 菜・花 き

**ネキリムシ類**の発生は**多**と予想される。ほ場およびほ場周辺の除草をこまめに行う。